

～西部地区の子供たちの力をさらに高めるために～

|  |                         |
|--|-------------------------|
| ◇指導のポイント 『障がい特性に応じた対応をする中で、よりよい「言語モデル」を目指す。』 |                         |
| <input type="checkbox"/>                     | 年齢や学年相応の言葉づかいや対応を行っている。 |
| <input type="checkbox"/>                     | 指示は短く、具体的な言葉で伝えている。     |
| <input type="checkbox"/>                     | 声の大きさに気を付けている。          |

## 障がい種別 指導のポイント

|                          |  |
|--------------------------|--|
| ◇弱視者                     |  |
| <input type="checkbox"/> | 一人一人の見え方に適した教材・教具や学習環境を準備している。                 |
| ◇難聴者                     |  |
| <input type="checkbox"/> | コミュニケーションの取り方を工夫している。                          |
| ◇知的障がい者                  |  |
| <input type="checkbox"/> | ねらいを達成できるように、スモールステップの指導を心がけている。               |
| ◇肢体不自由者                  |  |
| <input type="checkbox"/> | 補助用具やコミュニケーション支援のための機器等を活用している。                |
| ◇病弱者及び身体虚弱者              |  |
| <input type="checkbox"/> | 自分の病気に対する正しい知識や生活の管理をしていく技能、意欲を育てるような指導を行っている。 |
| ◇自閉症・情緒障がい者              |  |
| <input type="checkbox"/> | 学習及び生活をしやすくするための配慮をしている。                       |